

会議録	
会議の名称	平成24年度第1回清須市地域公共交通会議
開催日時	平成24年5月10日(木) 午前10時から午後0時30分
開催場所	新川ふれあいセンター 2階 大会議室
議題	1 開会 2 議事 [報告事項] (1) 清須市コミュニティバスの運行・利用状況について (2) 清須市レンタサイクルの実施状況について [協議事項] (1) 平成23年度決算報告について (2) 平成24年度事業計画について (3) 清須市生活交通ネットワーク計画(案)について (4) ルート・ダイヤ改正について
会議資料	会議次第、配席図、委員名簿 資料1 コミュニティバスの運行・利用状況概要 資料2 レンタサイクル実証実験事業の実施状況 資料3 平成23年度清須市地域公共交通会議歳入歳出決算 資料4 平成24年度清須市地域公共交通会議事業計画 資料5 清須市生活交通ネットワーク計画(修正案)の全体像 資料6 パブリック・コメントの結果について 資料7 清須市地域公共交通戦略(継続版)(修正案) 資料8 清須市生活交通ネットワーク計画(修正案) 資料9 清須市生活交通ネットワーク計画(案)(国土交通省提出用) 資料10 ルート改正(案) 資料11 時刻表改正(案)
公開・非公開の別 (非公開の場合はその理由)	公開
傍聴人の数 (公開した場合)	2名
出席委員	前田委員、小澤委員、山田委員、谷野委員、佐野委員、伊藤委員、加藤(榮)委員、宮崎委員、加藤(博)委員、西尾委員、柴山委員(代理)、林委員、吉川委員、永山委員、長崎委員、喜多村委員、彌田委員、永田委員、柴田委員
欠席委員	平松委員
出席者(市)	なし

事務局	(企画政策課) 飯田課長、加納副主幹、鹿島係長、藏城係長、小出主査
会議録署名委員	小澤委員、山田委員
<p>1 開会</p> <p>●藏城係長 皆様おはようございます。それでは定刻となりましたので、只今から平成24年度第1回清須市地域公共交通会議を開会いたします。私、企画部企画政策課の藏城でございます。本日の進行を務めさせていただきますのでよろしくお願いをいたします。</p> <p>まず、会議の始まりにあたりまして、企画政策課長の飯田よりご挨拶を申し上げます。</p> <p>●飯田課長 皆様改めましておはようございます。企画政策課長の飯田でございます。本日の会議には、副市長の永田と企画部長の柴田も出席をさせていただいておりますが、委員という立場でもございますので、私の方から恐縮ですが、少しお話をさせていただきたいと思っております。</p> <p>ゴールデンウィークが終わりました。おかげさまで、春の桜のシーズンからゴールデンウィークにかけては前年を大きく上回るような利用状況でございます。その辺りは後ほどご説明をさせていただきます。</p> <p>ゴールデンウィークと言えば、やはり大きなニュースとしてはバスの事故です。これは加藤先生も色々マスコミに出ておられたということなのですが、あの関越自動車道で、大変痛ましい事故がありました。ゴールデンウィークにディズニーランドへ向かうバスで事故が生じました。大変多くの方が亡くなり、怪我をされたということで、やはりそういったバスの運行ってというのは、なにが何でも安全が第一だといったことを改めて思い知ったところでございます。そういったところもふまえて、改めて運行事業者のつばめ自動車さんには、とにかく安全第一といったことを、お願いをいたしまして現在運行を続けていただいているところでございます。</p> <p>そして、もう1つお話をさせていただきたいのは、実は先般の会議の折に、市民委員の小澤委員さんの方から、パソコンを使って、バスのルートが、何時何分にとどの辺を走っているのかというようなシステムがあると、より皆さん具体的な議論に繋がるんじゃないかというご提案をいただいて、市の方としては一度考えさせていただきますというような少し生ぬるいような返事をして恐縮だったんですが、そういったところを受けて小澤さん自身が、システムを作っていたので、それをご紹介をさせていただきます。</p> <p>前のスクリーンの方をご覧くださいませでしょうか。今ですね、時計が1分ずつ進んでいるんですね。そうすると、3つのバスが☆印とか○印、□の印で、どこをどう動いているのかというのがよく分かるようになっているんです。こういったシステムですね、また後ほど加藤先生なり国土交通省さんなりにですね、ご見解をお聞かせできればありがたいんですが、まさに市民の委員の方が、ここまでやってくさるといふ事例は他にもないのではないのかなと思っておりますので、事務局としても大変ありがたい</p>	

なという風に思っております。こういったものを活用しながら、本日の会議に先立って先日専門部会を開催し、市民の皆さんから新しいルート・ダイヤ案についてご意見をいただいたところでございます。本日は、そういったこともふまえて、新たなルート・ダイヤ案の最終のご提案ということでご協議していただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いをいたします。

●藏城係長

では続きまして、本日会議に入ります前に1点ご報告をさせていただきます。4月ということもありまして、各機関で人事異動等によりまして委員のご変更がございましたので、ご紹介をさせていただきたいと思えます。本日机の上にこちらの委員名簿の方を配布させていただいてございます。こちらの名簿の方をご覧いただきたいと思えます。こちらの委員区分第4号愛知県の関係行政機関の職員の欄でございますが、こちらの愛知県地域振興部交通対策課の柴山卓也様に新たにご就任いただきますが、本日は他のご公務によりまして森島様に代理でご出席をいただいております。続きまして、愛知県尾張建設事務所維持管理課林由紀夫様に新たにご就任いただきます。以上が人事異動などによりまして新たに委員にご就任いただく皆様方でございます。皆様方にはこれからお世話になりますが、よろしくお願いをいたします。以上でございます。

続きまして本日の会議の出席状況についてでございますが、本日の欠席委員は平松委員1名でございます。よろしくお願いをいたします。

それではこれより議事に入りますが、ここで議事運営につきましてお願いを申し上げます。会議での発言方法についてでございますが、会議で発言していただく際には、必ず挙手をしていただきまして会長の指名を受けた後、係りのものがマイクをお持ちいたしますので、その際ご自身のお名前をおっしゃっていただきましてご発言いただくといたかたちでお願いをしたいと思います。

それではこの後の議事進行は会長にお願いをいたします。会長よろしくお願いたします。

●前田会長

はい、分かりました。それではこれからの会議の取り回しをさせていただきます。よろしくお願いをいたします。昨年度に引き続きまして今年度も皆様のご協力をお願いいたしまして進めてまいりたいと思えますのでよろしくお願いをいたします。

はじめに、会議録署名委員の指名をしたいと思いますのでよろしくお願いをいたします。本日の会議の会議録署名委員は、従来どおりの方法で座席順に小澤委員と山田委員にお願いしたいと思いますのでよろしくお願いをいたします。議事に入りますが、本日はお手元に会議次第で提示しております報告事項が2件、協議事項が4件となっております。円滑に進めてまいりたいと思えますのでよろしくお願いをいたします。

ではまず報告事項の議事(1)「清須市コミュニティバスの運行・利用状況について」及び議事(2)「清須市レンタサイクルの実施状況について」を一括して議題とさせていただきますのでよろしくお願いをいたします。事務局から説明をお願いいたします。

報告事項（１）「清須市コミュニティバスの運行・利用状況について」及び報告事項（２）「レンタサイクルの実施状況について」について事務局からの説明

●前田会長

ありがとうございました。只今の報告事項について各委員さんからご意見、ご質問等がございましたら賜りますのでよろしく願いいたします。はい、委員さんどうぞ。

●佐野委員

佐野でございます。コミュニティバスの方はちょっとさておきまして、レンタサイクルの件ですが、この４月から本格事業ということで貸出返却場所が清洲ふるさとの館１箇所ということですが、昨年状況を見てみますと、名鉄新清洲駅からの貸出が最高に多いわけですが、なぜこのふるさとの館１箇所にされたんでしょうか。

●飯田課長

はい、会長。

●前田会長

はい、どうぞ。

●飯田会長

はい、私の方からお答えをさせていただきます。昨年はもう皆様ご案内のように、清洲城へのドラマに合わせての事業がございましたので、鉄道駅から清洲城へのご利用が多かったという風に分析をしております。そういった要因がなくなったということと、あとは、電車の利用者の方のみならず、昨年の傾向を見るとですね、パークアンドサイクルというのが適切な言葉かどうかあれですが、車で清洲城なり清須まで来られた方が市内の美濃路だとかそういった見所を回られるときに車だと駐車場所がないので不便であります。そういったときに自転車で使って、町めぐりをいただけるというような実例が、昨年多く見受けられました。名鉄新清洲駅のご利用から比べると約半分くらいでございますが、それでも、JR枇杷島駅などと比べると多いといった状況でもございますので、他の自治体の事例でもお城のところではレンタサイクルをやっておられて、そこを拠点に町を巡っていただくというような取り組みもございますので、本年度は一旦そういうかたちで事業展開をさせていただいているところでございます。以上でございます。

●前田会長

はい、委員さんよろしいですか。はい、ありがとうございます。他に委員さん何か、どうぞ。

●小澤委員

小澤です。同じくレンタサイクルなんですけど、４月から去年もそうだったみたいなんですけど、利用対象が高校生以上になっておるんですが、例えば中学生で親と一緒にいた場合だとか、小学生でも今は自転車に乗る子がほとんどですので、親と一緒にいて一緒に回るといった場合は中学生ぐらいまでは当然認める方がいいんじゃないかと思うんですが。高校生になると多分親と一緒に車で清洲城ってことは少ないかと思えますけど、小学生、中学生ぐらいだったらちょっとドライブに行こうかって格好で利用者が

あるかと思うんですけどいかがでしょうか。

●前田会長

はい、事務局の方。

●飯田課長

はい、小澤委員さんのおっしゃるとおりでございまして、親子で自転車で町を巡っていただくっていうのも大変いいことだと思っておるんですが、若干ですね、少し様子を見させていただきたいというところもございします。まず、自転車を大人用自転車しか整備していないということと、なぜ整備をしていないかというところ、やはり冒頭でも申し上げた安全性の確保といったところでかなり私共も慎重に考えておりまして、まだ事業のこの始まってそう年数の経っていないところもございしますので、まずはそういった需要があるかどうかというのを見極めながら今委員さんからご指摘があったような中学生まで拡大してもというようなご意見として受け止めさせていただいて、今後意識をして検討してまいりたいと思っております。以上でございします。

●前田会長

はい、委員さんよろしいですか。はい、ありがとうございます。他に委員さん。はい、どうぞ。

●吉川委員

西枇杷島警察署の交通課長の吉川です。ちょっとレンタサイクルの方の関係で運用上の方の関係でお願いとこういう配慮をしてほしいです、ということで、ちょっと一言お願いと注文をつけたいと思います。

自転車利用の事故多発で問題になって法改正等もあるんですけど、自転車の出発地だとか到着地だとかいう時に、もう着いたからとの気の緩みで出会頭の事故がよく起こります。これは車の運行でも同じなんですけど、貸出返却場所が、清洲ふるさとの館になるんだったら、そこの出発のところと帰る時の方の道路だとか看板だとかそういう慣れない道だとか気が緩むときに、ここでちょっと注意してもらいたいよ、であったり自転車の運行の関係で事故防止に配慮するような整備の方の関係、案内の方の関係も合わせてご検討、前向きな対応をお願いします、というのが私の方からのお願いです。

●前田会長

はい、ありがとうございます。はい、事務局の方。

●飯田課長

大変恐縮でございします。事務局で、予めご説明をしておかなかったのが、交通課長さんの方からそのようなご指摘をいただいてしまったんですが、その安全確保というところは重々注意をしております、これまでもスタッフが、自転車の貸出をさせていただく際に自転車安全5則というチラシをお渡ししながらですね、交通法規の遵守というのをまずお願いをしています。あとは、サイクルマップをお渡しする中で安全に通っていただけそうな道とちょっとここの街道筋は道幅が狭いですので気をつけてくださいよ、というようなお声掛けをさせていただきながら、安全確保を図っているということで、本来冒頭でご説明すべき点が漏れてしまっていて大変恐縮でございします。そのような取り組みをさせていただいているということでよろしく願いいたします。

●前田会長

はい、他に委員さん何かご発言、ご質問等ございましたら、よろしいですか。はい、この報告の件につきまして副会長でも在られます加藤先生からご好評をいただけるとありがたいんですが、よろしく願いをいたします。

●加藤副会長

利用状況の方は、今年の冬は、冬から春にかけて天候がよくなりましたので、こうやって増えてきたのは普通なのかなと思います。レンタサイクルは今議論が出ましたけど、お金がかかるし管理も大変なので、ふるさとの館で管理が一番しやすいということが大きいのかなと思っているんですが、だんだんといろんな方法を考えなければいけないのかなという気はしています。

先日、富山に行ったんですけど、富山の場合ですと都心部のいろんなところに何台か自転車が路上のところにデポとって自転車を気軽に借りたり返したりすることができるようなものが用意してあって、動くことができるっていうのをやっていました。それもお金を国から補助金をたくさんいただいてやっているものなんで、そう簡単に真似ができないんですが、そうではなくって市内のいろんなお店とかそういったところにご協力をいただいて同じようなことをやるとかということも考えられるのかなと考えています。もちろん、当面のところはこうやってふるさとの館でそこまで車で乗ってきていただいて、そこから市内は自転車で回ったらどうですか、という提案です。車で回るよりも自転車で回った方が交通量の削減にも繋がりエコになる。そういったことに繋がるということでもっと外向けにPRもしてもいいのかなと思っていますが、それと共に本当は駅にもあってほしいなということもありますし、そうやって気軽に乗ったり降りたりできるっていうのもいいのかなと思っています。レンタサイクルは私の中では3月でなくなっちゃうかもしれないなと思ってたんで、続いてよかったなというぐらいに考えていまして、ちょっと気長にだんだん育てていけるといいんじゃないかなと思います。

いわゆる緊急雇用の事業は全国的にこの時期どこに行っても、終わっちゃいましたっていですね、非常に寂しい話が多くって、何だ国がお金をつけないとやんないのかよっていうそういうのがあまりにも多くってひどい話だなと思っているんですが、こうやって何らかのかたちで残ったっていうのはよかったんじゃないですかね。是非、うまく育てていければいいんじゃないかなという風に思っています。以上です。

●前田会長

はい、ありがとうございます。この他委員さんから何かあれば賜ります。よろしいですか。はい、ありがとうございます。他にご質問もないようですのでこれで報告事項の議題（１）（２）を終わりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

続きまして協議事項に入っていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。最初に議事（１）「平成23年度決算報告について」を議題といたしますのでよろしく願いをいたします。事務局から説明お願いいたします。

協議事項（１）「平成２３年度決算報告について」について事務局から説明。

●前田会長

はい、ありがとうございました。これにつきましてはご報告がございませんので、ここで監事として会計監査をお願いしている山田委員から監査報告をお願いいたします。

●山田委員

それでは監事を代表いたしましてご報告をさせていただきます。平成２３年度清須市地域公共交通会議歳入歳出決算について、歳入歳出差引簿及び関係証拠書類を審査したところ、全て正確かつ適正に処理されていると認めましたので、ここにご報告いたします。平成２４年５月１０日清須市地域公共交通会議監事山田政勝、永田純夫。以上、ご報告します。

●前田委員

はい、山田委員さんありがとうございました。それでは、この協議事項について何かご意見ご質問等がございましたら賜りますので、よろしくをお願いいたします。よろしいですか。はい、ありがとうございます。

特に、ご質問もないようですのでここでお謀りをいたします。本件につきまして、ご承認いただくということでよろしいでしょうか。はい、異議なしのお声ありがとうございます。それではこれで協議事項の議事（１）を終わります。

続きまして協議事項の議事（２）「平成２４年度事業計画について」を議題といたします。事務局の方から説明をよろしくをお願いいたします。

協議事項（２）「平成２４年度事業計画について」について事務局より説明。

●前田会長

はい、ありがとうございました。只今事務局から事業計画についての説明がございました。各委員さんからご意見ご質問等がございましたらよろしくをお願いいたします。はい、どうぞ。

●佐野委員

大したことではありません。記入ミスだと思うんですが、掲載料が１枠７０，０００万円になっているので、万はいらじゃないんですか。

●飯田課長

はい。事務局からお詫びでございます。資料２ページ目のですね、左側の時刻表・全体ルート図掲載料１枠７０，０００円の誤りでございます。申し訳ございません。

●前田委員

はい、他に委員さんよろしいですか。

●飯田課長

会長。ちょっと私から補足でご説明をさせていただきたいと思います。資料２ページ目のですね、右側今後の取り組みというところで新しい車内の窓枠の上部に広告を掲載していくというところで１枠当たり月額２，０００円とさせていただいている理由をご説明させていただきたいと思

ます。実は先日市民委員の皆さんに同じバスを運行しているみよし市さんの方へ視察へ行っていただいて実際にバスに乗っていただきました。みよし市さんも広告を掲載しているんですが、あちらは月額1,000円なんです。清須市の場合2倍なんです。色々判断としてはみよし市さんと比べて1,000円でいいんじゃないかという事務局の中でも1つ考えがあったんですが、左側ご覧いただきますとバス乗り場の標札の方が月額1,000円なんです。バス乗り場の標札はやはりそのバス停を基本的に利用される方だけが広告を見ていただける。一方バスの車内は、遥かにそれより多くの方がご覧になられるので、広告効果としては、バスの車内の方があるという風に判断をさせていただいて、やはり差をつけていくべきじゃないかということで、月額2,000円というかたちにしました。企業さんからのお話ですと広告効果ってなかなかないよというようなお話でございますので、職員が色々企業さんを回って、是非地域貢献のためにお願いしたいということでお願いをしていくというような状況でございます。ちょっとそこのご説明だけでもと思いまして発言させていただきました。

●前田会長

はい、ありがとうございます。よろしいでしょうか。どうぞ。

●吉川委員

申し訳ないです。ちょっと交通課長の立場ではなく、確認だけお願いしたいんですが、バス枠の広告の関係なんですけど、図でいくと右側の列に4つあって4列、左側はなしというこういう風な感覚でいいんでしょうか。この広告枠が2,000円はいいんですけど、4枠なんですけど、全部例えば公募してしまうよというようなかたちなんですけど、例えば1つシートかなんか広報用だとかコミュニティ的のところは1枠キープしとくとかそういうような考え方はありますか。公共バスですのでそういうこともあってはどうでしょうか、というような単純な質問です。

●前田会長

はい。ありがとうございます。事務局よろしいですか。

●飯田課長

はい、これも大変恐縮です。ご説明が漏れて4枠以外にですね、そういった交通課長さんのお話のように、コミュニティのことだとか、例えば今、バスの車内に交通課長さんのご提案で防犯だとかですね、交通安全の啓発のものを掲示いただいているんですが、そういったスペースの確保は可能ということでご理解いただければと思います。

●前田会長

はい、よろしいですか。加藤さんどうぞ。

●加藤副会長

改めて思うんですけど、今のこれもそうなんですけど、広告というとビジネスライクなんで、やはり協賛にしたいなという思いです。言葉的には協賛と広告でなにが違うのかというと、協賛というのはあまり対価を求めないもので、広告というのはこれ見て買ってねという宣伝効果を期待することです。もっと細かくは違う面もあるんですけど、實際上、広告だとしてもこれを出していただける皆さんがサポーターであるというそういう位置づけにもっとできないのかなという気がしています。結構、最近広報で有料広告が多いと思うんですが、ああいうのは、その広告が出る

から清須市がこの企業を推薦しているわけではありませんみたいなことが書いてあるんですが、そういうのではなくって、これはむしろバスを応援していただいていますというもっと積極的な位置づけにした方がいいのかなと思います。この車内の広告もそうだし、こういうチラシだとか停留所の広告なんかをもっと応援していますということを示すという流れにもなっているんですが、もうちょっとそういう風に少なくとも言葉だけでも何か考えませんか。

●飯田課長

はい。加藤先生がおっしゃるとおりでございます、企業さんから見れば広告効果という面ではなくて地域への貢献ということでお金をいただいている現状でございます。現在は、時刻表のところにおいてこういった企業さんのご協力により運営のサポートに繋がっていますという表現がないものですから、そういった意味合いで、単に広告じゃないんですよ、こういった企業さんのご協力によって運行経費の一部が助かっていますよというような趣旨が伝わるような工夫を一度事務局で考えさせていただきたいなと思います。

●前田会長

はい、よろしいですか。はい。

●加藤副会長

松阪市ですと50社以上そういった協賛企業がありまして、ずらーとこういうのに裏表紙とかに協賛企業が書いてありまして、松阪としては商人の町ということもあって、元々そういうことを前向きな方が多くて、しかもどこかがやると他もみんなやるといったことになって結局主だったところはみんなやるということで、今中心市街地のバスですと経費の3分の1ぐらいそれでまかなっているそうです。そこまではちょっときついんですが、清須も企業は多いところですよ。そういったところに、そういう企業だと宣伝って言われるとそれはちょっとないよねってことかもしれませんが、協賛というのとちょっと違うのかなということも思ったりするんで、ちょっと考えてみていただきたいなと思います。

●前田会長

はい、事務局よろしいですか。そういうことでございますので、いいご発言、ご助力、助言をいただきまして、本当にありがとうございます。

この協議事項につきましてお謀りしたいと思っております。この本件の事業計画につきましてご承認していただくということでよろしいですか。はい、ありがとうございます。それではこれで協議事項議事（2）を終わりたいと思っております。

続きまして、協議事項議事（3）「清須市生活交通ネットワーク計画案

について」を議題といたします。事務局から説明をお願いしたいと思っております。

協議事項（３）「清須市生活交通ネットワーク計画（案）について」について事務局より説明。

●前田会長

はい、ありがとうございます。只今事務局から議題の計画案の説明がございました。各委員さんから何かご意見、ご質問等がございましたらお願いをいたします。はい、どうぞ。

●小澤委員

小澤です。資料５の生活交通ネットワーク計画の骨子の１番に、生活交通ネットワーク計画の名称というところで、清須市地域内フィーダー系統確保維持計画ってあるんですが、ちょっと言葉の意味なんですけど、このフィーダーっていうのは鉄道ですか。幹線の鉄道に接続する役割を持つからフィーダーということなんですか。

●鹿島係長

はい、鉄道駅ですとかあとは基幹バスです。清須市のようなコミュニティバスではないバス停、あるいは港ですとかそういったような他の交通網等の拠点となるところと考えております。清須市の場合は、鉄道駅がいくつかあるんですけど、今までのルート・ダイヤ、ルート等につきましてもＪＲの枇杷島駅ですとか名鉄の二ツ杵駅、須ヶ口駅、新清洲駅等々を、兼摂してそこへのアクセスを高めるといようなかたちで路線の方を捉えております。

●小澤委員

分かりました。清須のあしがるバスの場合は全てフィーダーの幹線というより支線という考え方ですね。

●前田会長

はい。他に会員さんよろしいでしょうか。はい、どうぞ。

●佐野委員

恐れ入ります、佐野でございます。資料７ですが、清須市公共交通戦略修正案ということで変わっているところが戦略の期間だけで、あと内容的には変わってないということですね。前々回ですが、加藤先生がなかなかいいものができたねってことでこれをお見せになってお話をされたんですが、これに問題があるわけではないです。ただ３年間この交通戦略があって施策の５本柱の中で例えば、歩道・自転車道の通路の整備という１問があります。本来なら３年過ぎてとりあえずこの施策についての検証をして、そしてここが遅れているとか、ここが進んでいないとかそれについて修正をして、また次の３年間でこういう利用をとということが筋ではないかと思うんです。例えばこの３年間で市内全域での歩道・自転車通路の整備はどのようなかたちで推進をされたのか。また、このあとの３年間でどれくらいの例えば数値目標なりそういうものを持って進めておられるのか、そのあたりを考えて進めていただくとありがたいという風に思います。

●前田会長

はい、事務局。

●飯田課長

はい、ご発言ごもっともなところでございます。実はですね、この歩道・自転車通路の整備については方針っていったものがまだ市の方で、数値目標も含めて具体的なものを持ち合わせていません。3年間でどこまでどうにかたちでやるのかといったところでございます。ただ日常的に道路改良工事だとか県道ですとか国道の整備に合わせて、一般生活道路そしてそれに伴う歩道の整備というのは順次進めているところでございますが、この公共交通の考え方の中でそういった方向なり方針といったのをですね、見出していききたいなという思いの5本柱の1つということですので、少し建設部局の方が進めている歩道・自転車通路の整備とは若干趣の異なるところもあるといったところで、ちょっと苦しいご答弁ではございますがそのような趣旨でございます。今後も平成24年を基点とした新しい3年間の中で何かこの公共交通のこういったコミュニティバスだとかそういったものと合わせて、数値目標というのか何かどういう考え方でどう整備していくのかといったところを見出していききたいなと思っております。

●前田会長

はい、委員さんよろしいですか。他に、はい。

●加藤副会長

今のご意見すごいドキッとして、血圧が上がりました。私が、まず思ったのはどうしてまた3年なのかなって思いました。前に、大振りな方針を出しておいて3年でできるわけがないのに、3年っていうのがまずかったよねってことを言いながら、今回また3年っていうのが、何なのかなと思います。これは10年計画じゃないのかなと思いました。計画というか戦略じゃないのかなと思いました。内容的に変わらないのは仕方がないとして、今ご意見が出たように、やはりどれくらいできたのかできなかったのかっていうことは客観的にまとめておくことはやっておくべきですね。

その上でもう1個やらなきゃいけないのは、この5本柱に対して清須市としてはどういう計画であるとか、そういう政策を打っていくのかあるいは打ってきたのかってことの整理もやっておいて、そうすると当然穴もあるでしょうし、それからこの分類とはちょっと違ったやり方で実際はやってしまっているとか、あるいはもしかすると実際はこれやっているんだけど、この戦略っていうのは全然見たこともなかったとかっていうところが見えてくるかもしれませぬ。

ですから、せっかくこういうものを作っているわけですから、それは市としてのこういう戦略の中でも位置づけられますよということを、その部局も理解すればまた一層やる気も出ると、あるいは総合計画とか色々あると思うんですけど、いろんな政策の中で位置づけもより明確化するわけですので、まさに企画というのはそういう仕事を一番しなくてはいけないところなので、頭をちょっと白紙にして1回やられるといいですね。それを出していただいて、地域公共交通会議にも出していただくと共に、ちょっとそれこそ市役所の中のそういった会議とか、あるいはさっきの総合計画策定委員会みたいのところとかですね、そういったところでも見ていただいてやるといいんじゃないですかね。

やっぱり、この戦略のいいところっていうのは、例えば国交省のこの運

輸系の補助金には縛られないような内容をきちんと入れていこうというところですか。交通に係ることでしたら、例えば省庁とかでしたらもちろん警察さんも来ておられる。いろんなところが係わっていることがあるわけですから、そういったことを含めて非常に横断的にこういった5本柱を挙げているわけで、このことの良さをやっぱりもう1回認識する必要がありますね。

その意味でもう1つ私も説明を聞いていてちょっと分かりづらかった点なんですけど、資料8というのは資料7の中で公共交通関係のところを切り出したというか、正確に言うとあしがるバス関係のところを切り出した詳細計画だという位置づけですね。ですから、そのマッピングが分かりづらいです。戦略は総合計画等の下にあるものと考えており、その中でさらに公共交通の部分であり、政策の5本柱の1番目のところについてはこの詳細計画があると思います。あと、2から5の間は別の計画がある、またはないので作ろうとしているという位置づけをすると。資料8はそれで、さらに資料9はその中で補助対象になるところをさらに切り取ったものであると理解している。ですので、先程小澤さんがおっしゃったそのフィーダー系統確保維持計画っていうのは資料8には書いてあるんですが、ここにそれを書かない方がいいかもしれませんね。これは地域内フィーダー系統確保維持計画っていうのはフィーダー系統でないと補助をもらえないんで、という意味の国の方の用語なんです。だから資料8のところでは書く必要がないんじゃないのかなと思います。ここは単純に清須あしがるバス運行事業詳細計画ということでもいいんじゃないかと思います。そこをさらに国の補助制度に照らして切り取ると資料9になります。これは、資料9は地域内フィーダー系統のところ補助がもらえるということなので、そこを切り取りましたということで、もっとはっきり8と9の違いを明確化した方がいいです。普通の自治体は資料9しか作らないわけなんで、それは全然だめです。要するに、国の補助制度に合うところしか計画を作らない、こんなの自治体として自治体であることを捨てているわけですからまったく話にならないわけですが、清須市はそこをきちんと全体計画、それから関連の詳細計画の中で補助金をもらえる部分の計画という風に作っているということをきちんとやっているんですが、そのことを皆さんにちゃんと伝えられるようにきちんと構成された方がいいと思います。そういう意味で、佐野さんのご指摘はすごくハッとしましたし、非常に感銘を受けました。

●前田会長

はい、ありがとうございました。はい、事務局。

●飯田課長

はい、3年っていうのはですね、資料8・9のところのですね、計画期間との連動といったのも少し意識して3年という風にさせていただきました。今、色々ご指摘をいただいたように、この公共交通戦略には課題も多いものですから、3年間このまま行きますよということではなく、今後こういった中身についても公共交通会議の場等で、ご意見をいただきながら3年間の中で必要であればまた順次改訂していくってのもいいことではないのかなと思っております。3年間一文一句このままですよということではなく、一部改訂もあり得るというかたちで一旦3年間で整理させて

いただくと整合性が取れるのかなと思っております。そのように事務局は考えております。

●加藤副会長

いや、それが国の補助制度に捉われているってことです。だから資料9は資料7の改計画なわけなんで全く逆でして、資料7ではこういう風に例えば10年長期計画で考えなければいけないんだけど、国の方は3年なんで下の方は3年ですよということです。それは、逆でして、国の方が3年だから大きい計画も3年っていうのはこれ全然違うんです。通常は資料7のような大きい計画は総合計画等に合わせるんです。その意味で、清須市の総合計画の期間はどうなっていますか。

●飯田課長

ちょうど今年の4月から、後期計画の5年間は始まったところでございます。

●加藤副会長

その段階であれば、後期の5年間に合わせるのが一番いいです。なおいいのは、その見直し等も後期計画のローリングがあると思いますが、それと連動させるといいです。それから、フィーダー計画、改計画の見直しとも連動するという風を書くのが一番いいです。そうでないと、総合計画は勝手に動いていて、だけど国の補助の方はまた勝手に動いているということで、それぞれ場当たりの合わせているという風に少なくとも見た目上になってしまうので良くないなと思います。本当は5年にできるといいですね。内容的には整合性が取れているものです。元々それもチェックしています。でもこれはもうパブコメでこの部分だけかけていますよね、実は。こうなってしまうので、今後よく覚えておきましょうっていうことです。

●前田会長

はい、ありがとうございます。他に委員さんご質問、ご発言よろしいでしょうか。はい、特にご質問もないようですので、今色々委員さんからご意見、ご提言等ご指摘をいただきました。また、検討、対策をしていくこともありました。事務局の対応もお願いしてまいりたいと思います。

ではここでお謀りをしたいと思います。本件に関しましてご承認していただくということでよろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。異議なしのお声ありがとうございます。これで協議事項の議事(3)を終わります。

続きまして協議

●加藤副会長

協議が整ったところでちょっと言いたかったんですけど、ちょっと繰り返しになるかもしれないんですけど、やっぱりこの計画ってすごく先進的なものだと思うんです。改めて言いますとそれは2点あって、すごく横断的であるということと、もう1点はそういった補助制度とか既存の枠組みに捉われていないことということです。こういう規模の自治体であまりない計画だと思うんです。そのことと実際にやってることがうまくリンクしていないのであれば、もう1回市役所の中できちんと周知してほしいなということを強く思います。こういう計画っていうのはなんか勝手にやっているよとかじゃなくて結構すごい計画ですよと伝えてほしい。ただやろうとしたらそう見ると急にそんなこと勝手に言うなよという話になる可

能性もあります。でも内容的にはやっぱり清須市としてやっていかなければいけないことが書いてあるわけで、きちんとそのことふまえて、庁内でちゃんと意識共有をしてほしいなということを強く望みたいなと思います。

●前田会長

ありがとうございました。はい。

●飯田課長

今のご発言のご趣旨ですね、重く受け止めて今後対応させていただきます。

●前田会長

はい、よろしく願いいたします。

では、続きまして協議事項の議事（４）「ルート・ダイヤ改正について」を議題といたします。事務局から説明をお願いいたします。

協議事項（４）「ルート・ダイヤ改正について」について事務局から説明。

●前田会長

ありがとうございます。只今、事務局からルート・ダイヤ改正についての説明がありました。この協議事項につきまして各委員さんからご意見、ご質問等を承りたいと思いますのでよろしく願いいたします。

●飯田課長

会長。ちょっと私の方から再度お詫びと補足をさせていただきます。まず、資料１１でございますが、これも大変申し訳ございません。一番右側のピンク色のルートなんですけど、表示がオレンジルートとなっておりますが、これはサクラルートの誤りでございますので、サクラルートとご訂正いただきますよう大変申し訳ございませんがお願いをいたします。

そして補足なんですけど、資料１０の右側をご覧くださいますと、資料１０のルート図です。右側が今度７月７日からの新しいルート改正案なんですけど、ちょうど真ん中あたりに清洲東小学校南というバス停が新しくあるんです。括弧してアルコ清洲西というバス停なんですけど、このところが、まっすぐ通り抜けられるようになっていきます。ただし、現在はまだ工事中でございます。尾張建設事務所さんの方で鋭意お取り組みをいただいておりますが、８月上旬ぐらいに開通になる予定ですが、まだ正式なお日にちについては確定されていないように承知をしております。７月７日時点で開通が今後調整の中で見込めない場合はですね、一旦迂回をしたルートで、走行させていただいて、開通後に通り抜けで運行するような手続きをとらせていただきたいと思いますなと思っております。この点だけよろしくお願いいたします。私からの補足とお詫びは以上でございます。

●前田会長

はい、ありがとうございました。事務局から説明したことでございますのでよろしく願いをいたします。各委員さん何かご質問等ありましたらお願いします。はい、どうぞ。

●小澤委員

小澤です。改正ルートについて、専門部会で話をしてこれでよいかなと

思っていたんですけど、サクラルートのですね、ちょうど北名古屋市の境の辺り上之切児童遊園東ですか、そのちょっと向こうにですね、ドンキホーテとコジマ電機があるわけです。そこまで乗り入れるっていうのはちょっとルートが大幅に変わってくる可能性があるんですけど、例えばこのカーブのところに停留所を作ればコジマ電機までだったらせいぜい300メートル、ドンキホーテでも400メートルぐらいだから若い人が行きやすいんじゃないですか。欲を言えばこのサクラルートとオレンジルートの重なっている部分がありますのでその片方をですね、ドンキホーテかコジマ電機に乗り入れてもらった方が便利かなと、ちょっと後になって思ったものですから発言をさせていただきます。

●前田委員

要望ということで、事務局として検討をお願いします。他に委員さんよろしいですか。各主管の関係機関の各委員の先生方にもご提言ご助言を賜りたいと思いますので、よろしく願いをいたします。はい、どうぞ。

●西尾委員

極めて形式的なことなんですけど、先程事務局からご説明がございましたように、この今回のルート・ダイヤ改正に伴って、新たにバスが走る路線が生じます。それからバスが通らなくなる路線が生じますということになってございます。それで私共運輸支局の方に申請をしていただく際には、手続き上の話なんですけど、新設路線がこうですよとあるいは廃止する路線はこうですよということをこの協議会できちんと合意をいただいた上で申請をいただくことによって処理時間が短縮できます。運賃が届出運賃だったりとかそういう手続きの簡略化等がございまして、皆様が合意をいただく際に、路線の新設があります、それから廃止があります、それからバス停の廃止もございまして、新たにできるバス停もあるんですということを認識した上で、合意をいただくということを頭に入れておいていただきたいということを1つお願いを申し上げます。よろしく願いいたします。

●前田会長

はい、ありがとうございます。はい、どうぞ。

●鹿島係長

西尾様からですね、ご指摘いただいた点につきましてはこちらの資料の作り方も、ちょっと好ましくないのかなと思います。本来ですと新しく新設する部分と廃止する部分等を、きちんとお示しした上で皆様方にご協議していただくっていうのが筋だと思いますので、今回はこの資料でご協議をいただくんですけど、次回以降のルート・ダイヤ改正の際にはですね、そういった新たに新設する部分、廃止する部分をですね、きちんとしたイメージしたかたちで皆様方にご提示させていただきたいと思います。今回は誠に申し訳ありませんがこの資料を持って、ご協議の方をいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

●前田会長

はい、ありがとうございます。はい、どうぞ。

●林委員

すいません。尾張建設です。お願いですけども、7月7日でルート改正をするというのはもう確定されているかと思っておりますので、私共が管理して

おります道路に新しいバス停等を設ける場合、当然占用等の手続きになりますので、出せる状況になりましたらできるだけ早い時期での申請をお願いしたいと思います。

●前田会長

はい、ありがとうございます。その点については、事務局いいですね。

●鹿島係長

早々に対応の方をさせていただきたいと思いますのでよろしく願いいたします。

●前田会長

はい、ありがとうございます。はい、どうぞ。

●佐野委員

例えば、グリーンルート of 5 便のヨシヅヤ清洲店が 1 3 時 5 4 分着ですね。それで春日公民館の方へ向かおうとすると 5 便の出発が 1 3 時 5 3 分を出てしまってから着くということになるんですが、基本的にヨシヅヤで待ち合わせをするということでしたね。同じ時間帯のバスがいくつあるんでしょうか。

●鹿島係長

前回の専門会議でも若干お話をさせていただいております。これが、あくまで発という出発する時間ということ。到着する時間につきましては若干清洲小学校西からヨシヅヤまでが 3 分とってあるんですけど、実際に走れば 1 分、2 分で来るということで乗り継ぎをして出発をするというかたちで、お考えいただければ結構かという風に考えております。

また、運行事業者には、それぞれバスに無線を積んでおりますので、乗り継ぎをされる方、清須市のコミュニティバスの場合は、乗る際に降りられる降車されるバス停の方を運転手さんの方に言っていただくこととなりますので、そこで乗り継ぎのお客様がいる方につきましては、場合については乗り継ぎをされるお客様を乗せてから発車するというようなかたちで考えております。

●前田会長

はい、ありがとうございます。よろしいですか。はい、どうぞ。

●加藤委員

加藤です。別に反対しているとかそういうわけではございませんけど、今後のために一度この場で聞いておきたいと思います。今オレンジとグリーンとで南、北の方を走ると言っておられますが、確かにそのように走っておるとは思いますけど、私共は芳野公園から今まで乗車させていただいたんです。その名鉄をはさんで南側は走ってくださるんです。でも私共が住んでいる名鉄より手前の方の人たちは無視されていると感じました。運輸支局の方もいらっしゃるんでお聞きしたいんですが、名鉄の前の三菱重工社の前のところで停留所を作ったり、もしくは芳野公園のところから左にちょっと入っていただいて住宅の前の道を通って大きな道に出るというようなルートはできないんでしょうか。停留所を作るということとはできないんでしょうか。これはあくまで今作ってくださいということじゃなくて、今後また改正されるときもあるとは思いますが、そのときの参考のために聞いておきたいんです。

私は今オレンジが学校のところを通って市役所に来るんです。そこを右

に曲がっても何も停まらずにその辺のところで1つ停留所を作ってもらって堤防に上がって市役所に入っていたらいいと思うのですが、何か駐車できないこととか何か道の関係でやっていないのか、それとも市役所の方で時間の関係でぐるっと回りますので、その時間のためにやっていただけないのか今後の参考のためにお聞きしておいておきたいと思います。ご返事よろしく願いいたします。

●前田会長

はい、この場で即答ということは難しいと思いますので、いつも専門部会で色々こうやってご協議しておりますように、事務局側と関係機関とお話した中でまた加藤さんにご報告させていただくということでしょうか。そういうことで事務局の方ご要望ということでございますので、よろしく願いいたします。他に、はい。

●加藤副会長

今のことと先程の西尾さんのご指摘に繋がることなんですけど、結局問題なのは廃止する停留所が非常に利用が多いとか、代替する停留所が遠い、あるいは使いづらいというところがあるかどうかきちんと説明してほしいってことなんです。だから、この資料で何とかしてほしいって言うのはちょっと説明になっていなくて、この資料はこれでいいんですが、問題がある停留所はここだけこういう風に処置しますとか、ここは処置する必要はありませんとかっていう説明をしてほしいんです。そうすると廃止っていうこともいいだろうということになるわけです。そうでないんだったら廃止っていうのは時間かけてやらなくちゃいけませんよというのが法律なんで、今のその芳野公園西のこともどういう風に代替処置として考えているのか。あるいは代替はいらないと考えたのかということの説明してほしいんです。今は2ルート走っている、それがなくなるってことなんですけどちょっと説明をしていただきたいと思います。大きいところだと、アルコとか、あとは細かいところもありますかね。ちょっと問題になりそうなところを説明してほしいです。

●飯田課長

はい、先程来ご説明申し上げておりますように、本日の会議を開催させていただく前の4月にですね、市民の委員さんに集まっていたいて専門部会を開催させていただきました。その専門部会の折にはですね、この資料のみならず非常に大きな地図に、バス停だとかルートを落として、東から順番に、要は西枇杷島地区からここがこう変わります、ここがこう変わると、こう変わりますということで、1つずつご説明させていただいて、その代替処置もご説明させていただいたといった点は是非ご理解をいただきたいなと思っております。

本日は加藤先生はじめ関係機関の方もお見えになるので、そのときのご議論の内容を少しご紹介をさせていただきますと、まず芳野公園西のところは、オレンジルートを廃止をさせていただいております。これはオレンジルートが、非常にルートの距離が長いからです。ここを回ることによって、通ることによって、さらに時間が延びてしまって、現在お示ししている6便体制っていうのが、非常に困難になってくるといったところです。そういう理由で、芳野公園西は廃止をさせていただいております。芳野公園西のご利用者の方が多いっていうのは十分承知をしておりますが、芳野

公園西のバス停の位置は、ご案内のようにバス停のすぐ北側が三菱重工さんと下水道の処理場なので基本的には人は住んでいないと思われます。芳野公園西をご利用の方は、やはり線路の南北の線路に沿ったお家の方かなという風に私共は把握をしておるんですが、そういったところでは尾張新川郵便局東、こちらのバス停まで芳野公園西から徒歩で300メートル程度だと承知をしておるものですからこちらの方を是非ご利用をいただけないかなと思っております。

グリーンルートも芳野公園西を廃止させていただいたのは、ここで名鉄を渡ってしまって、右へ回って二ツ杵駅の方へ行こうと思いますと、前回の改正のときにこの二ツ杵駅前郵便局南っていうのを新設させていただきました。これは市民委員様のお声でこの前に整形外科さんがあってその整形外科さんに行くのが便利だからここを通っていただきたいというお声があって、あえてここを通るようにさせていただいたところがございます。それで非常にご利用も多いという実績も出ておりますので、線路を渡ってしまいますと今度整形外科さんが行けなくなると、行けなくなるとか遠くなってしまうと裏腹な面があるので、これも芳野公園西のバス停の方には大変恐縮ですが、尾張新川郵便局東をご利用いただけないかなという風に思っております。しかしながらそうは言っても芳野公園西のところでは何とかバス停をとというお声は十分承知をしておりますので、これは専門部会の際にもお話させていただきましたが、このサクラルートですね、ちょうど今、西枇杷島保育園（さわやかプラザ）というバス停が新設させていただいておりますが、ここを今、枇杷島駅東口の方へ回るようになっております。そして、1年過ぎますとこのJRのところを潜り抜けができるように県道の整備をさせていただいておりますので、ここが潜り抜けられますとサクラルートのバスがJRを潜って二ツ杵駅東にいて、そして芳野公園西の所にバス停を作って市役所に入るということで、あと1年お待ちいただければ、幹線バスが、芳野公園西でご利用をいただけるというようなご事情もお話をさせていただいたところがございますので、その辺の経過っていうのを一旦ご説明をさせていただきました。

アルコ清洲のところも、少しバス停の位置がやはり300メートル程西側に移動をするわけですが、ここはキシ清須店のご利用のことを考えています。やはり買物弱者の方がこのバスをご利用してみえるということで、スポーツ施設のあるアルコ清洲よりキシ清須店の方を選択するルート設定にさせていただいたといったところで変更をさせていただいているところがございます。

専門部会の中でいただいたご意見で何箇所かこのダイヤを修正をさせていただいております。私共が大きな論点として挙げさせていただいたのは、朝の到着時間です。先程担当の鹿島が申し上げたように、朝の到着時間を図書館がオープンする10時に合わせてバスを運行する方がいいのか、ヨシヅヤさんの開店に合わせてバスを運行する方がいいのかどちらがよろしいでしょうかということをお伺いいたしましたら、やはり図書館は10時にぴったりオープンと同時に着かなくてもいいんじゃないかと意見がありました。要は10時5分とか10分になってもいいと、ただしあんまり10時にこだわっちゃうとヨシヅヤさんに着くのが9時40分ぐらいになって20分もヨシヅヤさんの開店を待たないといけなくなりま

す。それだったらもうあと10分ぐらい遅らせて図書館の方は10時ちょっと過ぎてもいいんじゃないか、というようなご意見をいただいて修正をさせていただいたり、五条川リハビリテーション病院のご利用のことも含めてダイヤの修正もさせていただいているということで、決して事務局案をそのまま飲み込んでいただいたということでもないと思っておりますので、今頂いたご意見はご意見として、1年後にはサクラルートがここを通れるということもありますので、そういったことを、ぜひ取り組んでまいりたいと思っておりますので、ぜひともご理解をいただきたいなと思っております。私の説明は以上でございます。

●前田会長

はい、ありがとうございます。加藤委員さんよろしいですか。

●加藤委員

加藤です。たびたびすいません。承知はしているんですが、300メートルとおっしゃいますけれど、体の不自由な方は東新川郵便局に行くまでに大変なんです。もう1つは名鉄が通ると思った時間に5分前、10分前に行っても名鉄が2つ、3つ一緒に通るときがあつてなかなか遮断機が上がらないんです。それは近くにいる人でないと分からない点もあるとは思いますが、やはりそういうのも考慮して考えていただきたいと思っております。体の不自由な人は300メートルとおっしゃってもそこまで行ってちょっと早めに出たつもりが名鉄が来て何回か待たなくてはいけないとそういう場合もあるので、是非できれば来年まで待ちますけれど、芳野公園の近くにどこでもいいですから、そこから病院に行つてらっしゃった方はすごい喜んでらっしゃる方がいるんです。だからそういう喜んでらっしゃる人の芽を摘まないで、これからもできるだけ人が住んでる少ないという感覚ではなくて、どの辺から人が集まってやってきて乗ってくださるかということもちょっと頭の隅に置いていただきたいなと思っております。不自由な方を見ると涙が出てきてしまうので、分かっているんだけど、言わざるを得なくてこういう席で話すんです。よろしくお願いいたします。

●前田会長

はい、ありがとうございます。事務局は十分配慮の方を今後1つお願いいたします。他に委員さんよろしいですか。はい、先生。

●加藤副会長

今のは承知したんですけど、もしサクラルートがまた二ツ枳を通るとなると宮前公園を今回新設するんですが、また行けなくなりましたということになりますね。そうであるなら置かない方がいいんじゃないかなというぐらいに思ってしまいました。もちろんその時にはオレンジルートを変えるという手もあると思っておりますので、またその時考えればいいんですが。

いずれにしても何が言いたいかということ、専門部会でやりましたので納得してくださいっていうのは、そういうのはちょっとあり得ないやり方なので、こういう議事がありましたと、こういうところを検討しましたという最低でも議事概要ぐらいは出していただいて、議事概要じゃなくってこういうところを注意して直しましたということを出していただければ全て分かりやすく議論できるかなということなんです。そのことって非常に重要だと思うんです。本当はこういう風にやりましたということをご皆さんに知っていただいて記録にも残っていることは重要ですので、そのあたり注

意していただきたいと思います。

言いたかったのは先程五条川リハビリテーション病院の話が出て、ちょっと事前に事務局さんとやり取りをしたときにオレンジの朝の便ですね。今ですと春日支所 9時17分が最初なんです、春日に行く前に名古屋の方からバスが来ますので、それだったら、行きの便もあってもいいんじゃないかと話をして私もだけどそんなに乗る人いるのかなと思って答えていたんです。現状のサクラルートを見ますと8時50分清洲総合福祉センター発でリハビリテーション病院9時14分で春日公民館9時18分があるということになっているんですが、これの利用ってというのは結構あるんでしょうか。それともほとんどないんでしょうか。なぜなら、需要が考えられるとしたらまだ図書館開いてないんでこの五条川リハビリテーション病院の利用があるのであれば、元々回送しているんであったらこの便は必要なのかなと。ちょっと今気づいたので、確認をしておきたいんですが。そうでなくってただ回送してるから走った方がいいっていうだけだとちょっとどうなのかなと思ったんですが、需要があるのであればこの便もこの9時17分春日支所の前ですね、例えば清洲駅とかから走るってのはあるんじゃないかなと思ったんですが、どうでしょうか。これは、つばめさんに聞いた方がいいですか。

●飯田課長

今ちょっとデータ確認しておりますのでお待ちください。今加藤先生ご指摘の点を整理させていただきますと、現状の時刻表をご確認いただけますでしょうか。サクラルートの1便でございます。清洲総合福祉センターを8時50分に出発をしてJRの清洲駅を8時54分、そして五条川リハビリテーション病院9時14分この間のご利用がどうかというご指摘なんです、大変申し訳ございません。総数でしか持っておりませんので、この区間で清洲総合福祉センターから五条川リハビリテーション病院で1便どの程度のご利用があるかということは、今すぐにはお答えできない状況です。

●加藤副会長

つまり、この時間に行って今ですと春日巡回の1便に乗って行って2便で帰ってくるというのがパターンになるのかもしれませんが。ただこの病院のパターンが分からないし、利用状況も分からないっていうのもありますので、そこを確認しないといけないんですが、もしこの便があれば、そういった利用があるのであればそういう人が明らかに利用できないし、走っているんだからあった方がいいってことになるのかなと思ったんです。すいません、私もちょっと迂闊だったんですが、今日もう完全に確定しないとまずい話ですね。かなり時間的にぎりぎりなので、ちょっともしデータがあれば出していただきたいです。

●飯田課長

もう1つですね、私の方からその他ご説明させていただきますと、新しい時刻表資料11です。資料11の一番右側のサクラルートです。ちょっと誤植があって修正していただいたサクラルートの1便でございますが、1便ですと清洲総合福祉センターを9時54分そして五条川リハビリテーション病院を10時3分というこの路線がございますので、こちらの方でご利用の方はカバーできるという風には考えています。

●加藤副会長

それはもう分かっていたんですが、やはり路線が違うのでちょっと支障があるかもしれないと思いました。それと、オレンジルート of 時刻表だと五条川リハビリテーションセンターになっていて、サクラルートの方だとリハビリテーション病院になっているんですけど、どちらが正しいんでしょうか。

●飯田課長

恐縮です。その点はですね、病院が正しいです。

●加藤副会長

病院が正しいんですね。もし9時台があれば午前中に行く選択肢が9時台にも行けるし、10時台にも行けるし、帰りは10時台にサクラで帰れる、12時台に帰れるということで、選択肢が広がるのでいいのかなということです。要するに今までより増便しているんで、特に春日は本数増えているので今までだったら、午前中1回、春日巡回の1便で行って2便で帰るっていうのしかなかったのが、長くいて早い便で行って遅い便で帰るっていうこともできるし、選択肢が増えるのでそういう観点からこの福祉センターなのか清洲駅なのかは分かりませんが、このあたりからもし需要が現状でもあれば生かしてもいいのかなと思いました。

●飯田課長

5分トイレ休憩ということでもし会長、お時間をいただければ確認して今日この会議で結論を出したいと思いますがいかがでしょうか。

●前田会長

はい、今事務局から案出ましたんですけど、少々休憩を取りたいんですけどよろしいですか。時間的には5分あればいいですか。

●飯田課長

暫時休憩ということで5分目安で見ていただければ結構です。

●前田会長

はい、それでは12時10分まで、一応休憩暫時したいと思いますのでよろしく願いいたします。

●飯田課長

申し訳ございませんがよろしく願いいたします。

●前田会長

皆さん席の方へお戻りを願いたいと思います。只今から休憩に引き続きまして、会議を開催したいと思いますのでよろしく願いいたします。

はい、では事務局の方からよろしく願いいたします。

●飯田課長

はい、まず現状の時刻表の方をご覧いただけますでしょうか。現状の時刻表のサクラルートでございます。先程見ていただいたサクラルートの1便、清洲総合福祉センターを8時50分に出発をして、五条川リハビリテーション病院に9時14分に着きます。要はこの区間どれだけご利用があるかということは今調べました。1年間の数字でございます。1年間で36名です。ですので、1ヶ月当たりになると3人ということで1週間に1人あるかという程度です。で、その時刻表の右側に目を移していただくと、2便っていうのが、清洲総合福祉センターが11時15分で五条川リハビリテーション病院が11時39分着。ここのご利用が454人。先程と同

じ年間です。10倍以上の開きということで、これを大変恐縮ですが、見させていただくと必ずしも朝早くですね、五条川リハビリテーション病院に着かなくてもいいのかなというところで、新しい方の時刻表をご覧くださいますと、私はもう五条川リハビリテーション病院へのお客が多いことはもう十分念頭において、一番左側のオレンジルートですと、11時43分に着くようになっていっているんですね。一番左側の2便のところを見ていただくと11時43分に着くようになっていっているので、今とほぼ変わらない時間になります。もう1つ先程ご説明した新しい時刻表の一番右側のサクラルート、この1便で五条川リハビリテーション病院に10時3分に着くバスも新たにできると。五条川リハビリテーション病院には今までサクラルート1本しかなかったんですけど、今度はオレンジルートも行って2つのバスが行くのでよりご利用がしやすくなるというところもふまえて、一旦事務局としてはこのオレンジルートの時刻どおりで行かせていただきたいなという風には考えています。

●前田会長

はい、ありがとうございます。よろしいですかね。

●飯田課長

会長もう1点。先程佐野委員さんからですね、ヨシヅヤさんでの乗換の時刻で1分2分違うところがあるとご指摘をいただきました。少し待つてというようなご説明もさせていただいたんですが、やはりそれより時刻表上で同時刻の方がより適切でございますので、その辺のこの時刻表から1、2分の修正といったのはですね、今後事務局の方でさせていただきたいなと思っています。

●前田会長

はい、その点よろしくお願いたします。他に委員さん他にご発言、ご意見等がございましたら、はい、どうぞ。

●宮崎委員

宮崎と申します。湯吉郎を往復したいんです。今度7月から新しいルートになり、始発は湯吉郎ですが帰りはなくなります。湯吉郎からこっちに戻ってくるルートをできたらお願いしたい。来年でもいいですので。

●飯田課長

いや、会長。今グリーンルートのお話で、正しい時刻表の方ですと、豊公橋北、湯吉郎さんのところ。湯吉郎さんのところで出発をして清洲総合福祉センターに到着します。帰りのバスは総合福祉センターを出発して湯吉郎さんのところへ着きます。

●宮崎委員

二ツ杵から湯吉郎に行きたいと思えますけど、今はいいんですけど、これだといけないと思うんです。

●飯田課長

会長、今回のグリーンルートの改正点をご説明させていただきますと、グリーンルートは図書館へ行けませんので、サクラルートとヨシヅヤのところ。乗り換えれるように時間調整をしております。もう1つはグリーンルート沿いは、商業施設スーパーがほとんどないので買い物に利便性を高めるということで、キシ清須店さんとかフィール清須店、そしてヨシヅヤには買い物バスの意味合いを今回持ったということです。何よりも増便

ということで時間短縮を図りながら今まで7便だったのを3便増便して10便にしたということで、かなり利便性というのは高まるのかなというのは思っているんですが、今ご発言のご趣旨のところ、一部その時間が遅くなるので今の時刻表の方がいいねということだと思うんですがそのあたりは担当より説明します。

●藏城係長

今の宮崎さんのご質問なんですが、今の時刻表を見ていただきますと、グリーンルートの1便が二ツ杵駅東1便9時4分発でそちらにお乗りいただくと豊公橋に9時14分に着くバスがございます。これをご利用されているというお話なんですが、結局今度グリーンルートということで二ツ杵駅から豊公橋の方へ向かうバスということになりますと、もう2便ということになってしまいますから、10時40分に二ツ杵駅を出まして10時52分に湯吉郎に豊公橋北に着くという時間になってしまうので、それだと宮崎さんが利用されてみえるのには時間的に遅いので早くしてほしいというご意見だと理解しております。

●飯田課長

会長。それぞれご利用の方のお立場で、若干ご不便になられる方もお見えになれば、ここで目に表れないかたちで大変恐縮な物言いかもしれませんが、利便性の高まる方もいらっしゃるという風に思っております。それは実際に運行してみてもご利用者数だとかお声を聞いてということになってくると思いますので、そのあたりは、正しい時刻表ルートで運行させていただいて、またこの会議の場で利用状況を適時ご報告しながら、改善すべきところは改善するというような全体的な考え方で、お願いできればありがたいなという風に思っています。

●前田会長

はい、ありがとうございます。宮崎委員さんどうでしょうね。事務局から説明ございましたように、今後の対応の対象にしていくというようなことで考え方もその時々で調整しながらやっていくということによろしいですか。はい、ありがとうございます。

長時間になりましたが、ここでお謀りしたいと思います。本件につきましてご承認いただくということでよろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。これで協議事項議事(4)を終わりたいと思いますので、よろしく願いをいたします。

●伊藤委員

伊藤ですけど、すいません。要望でいいんですけど、この新しい時刻表ですね、今言われたようなヨシヅヤとかですね、乗換の場所を時刻表上に例えば色を変えて乗換できますよというようなことができないものかどうか。そうすると一目でここで乗継ができるんだなということが分かるような時刻表にならないかなということなんですけど。

●前田会長

はい、事務局。

●飯田課長

はい、その点をご指摘ごもっともでございますので、時刻表の作成時点で、そのあたりを意識して取り組んでまいりたいと思います。

●前田会長

はい、委員さんよろしいですか。はい、ありがとうございます。確認のために本日の議事を整理して事務局からご説明をお願いいたします。

●飯田課長

はい、ありがとうございます。長時間にわたりまして大変申し訳ございません。

本日はですね、協議事項として平成23年度決算そして平成24年度の事業計画をご承認いただきました。また、交通ネットワーク計画も、パブリックコメントの結果をふまえてお認めをいただきまして、その中のコミュニティバスの部分だけを、補助金申請にあたって国土交通省さんへ提出をさせていただいて補助金の確保をさせていただきたいなという風に思っております。

そして最後、ルート・ダイヤ改正については様々ご意見をお伺いいたしました。個別にはですね、色々あと10分あと15分というようなお声もあるかも分かりません。しかしながら、私共のそういったお声1つ1つこれまでも丁寧にお伺いした中で、全体の利便性向上ということで考えておるところでございます。決して話をお伺いしないという姿勢ではございませんので、是非個別に、ここをこうしたらとかあと何分とかというようなご意見は引き続き寄せていただきたいなという風に思っております。以上でございます。

●前田会長

はい、ありがとうございます。以上で本日予定されておりました議事は全て終了いたしました。最後に各委員さんから何か全般的なことでお伺いしたいことがあるようでしたら、よろしいですか。はい、ありがとうございます。

●加藤副会長

小澤さんのルート表示はいいですね。誰も思い付くことは付くんですけど、作るのが時間かかるんでやらないということだと思っんです。小澤さんに給料払われた方がいいんじゃないですか。ただ、自分でやる時間はないし、学生にやってもらおうと思ってもやらないんでやらなかったんですけど、小澤さんの努力はすごいなと思いました。僕の中では愛知県全体に広めたいなと思えます。愛知県として、これに補助金を出すとかどうか。すごくいいことだと思えます。できれば、途中で止められてそれでその時間どこにいるかとか、あとどっちに向かっているか、矢印で見せた方がいいのかなとかそんなことも思えます。他地区でやっているところもあります。ホームページに小澤さんに何らかのご苦労様料をお支払いして載せるとすごくいいんじゃないかなと思いました。是非そうしてほしいなと思えます。本当にご苦労様です。

●前田会長

はい、ありがとうございます。事務局今後の報告をお願いします。

●飯田課長

先程事業計画の中で、今年の2回目の会議を秋にということで予定をさせていただいておりますが、7月7日ルート改正後に、また早急にご意見をお伺いした場合は、また日程を変更して会議を開催させていただきたいと思えますので、そのようなことをご対応願えればありがたいと思えます。以上でございます。

●前田会長

ありがとうございます。

●加藤副会長

新しい道路のルート変更については本来協議事項かもしれませんが、今日も確認しておりますので、書面になりますね。

●飯田課長

国土交通省さんへご提出する最終のものについては各委員さん持ち回りのご協議でご対応していただきたい。

●加藤副会長

それもあります、その後に道路が新しい道路が開通してちょっとルート変更があるということについてもそういう書面になるということではないですね。

話は変わりますが、7月7日に図書館はオープンの式典というのはあると思いますが、新しい車が入るお披露目の会とかあるいはなんかいずれにしても、バスが変わることについてのイベント的なことはやらないんでしょうか。

●飯田課長

図書館のオープンに合わせて、7月7日は7周年事業ということで展開してまいりますので、その全体の中で新しいバスの取り組みを紹介していくようにしてまいりたいと考えております。

●加藤副会長

バスが入ったら7月7日の1週間前とかにそのあたりの土日とかのどこかで、お披露目試乗会とかやったらどうですか。そのようなことは考えていますか。

●飯田課長

できればさせていただきたいんですが、納車が実はぎりぎりとなります。バスの若干マイナーチェンジと言いますか、仕様が変るという物理的な要因があって、どうしても納車がぎりぎりになってしまうということで、お披露目ということが物理的に困難な状態です。

●加藤副会長

何が言いたいかといいますと、図書館と一緒にやるということですので圧倒的にバスのことがかき消される可能性があると思うんです。バスが変わったということが、そのついでみたいな風になってしまうような気がするんです。ですからバスも新しいのが入った、そして、ルートも変わりますということもきちんとアピールできるような機会を作っていただきたいし、それをもちろん委員の皆さんはもちろんですが、市民の皆さんにきちんと周知というか広報して、たくさんの皆さんに来て、知っていただけるような機会を作ってほしいなということです。それは図書館のオープンときに何かをやるということでも構わないと思うんですが、是非そういう工夫をしてほしいなと思います。

●前田会長

はい、ありがとうございます。それではこれをもちまして平成24年度第1回清須市地域公共交通会議を閉会いたします。委員の皆様方には大変お忙しい中、長時間ご協議いただきまして大変ありがとうございました。

閉会	
問い合わせ先	企画部 企画政策課 052-400-2911 内線1224

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

会 長 前 田 繁 一

署名委員 小 澤 顕 彦

署名委員 山 田 政 勝